

# 柳津町小中学校 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

## 1. 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

第 6 次柳津町振興計画の基本施策のひとつである「学校教育の充実」の中においても、ICT を有効活用することでの学力及び情報活用能力の向上を目標としており、具体的には、個々の学習状況を可視化・分析できることでの、ひとりひとりの能力に応じた個別最適化された学習の促進、また、クラウドを活用し、情報・データを共有できることにより、時間や場所に縛られることなく、他者との共同作業やグループでの課題解決を目指す協働的な学び、インターネットや各種アプリケーションを活用し、社会の課題について自身の興味関心や疑問点について調べ、考え、問題解決するための力を身に付ける探究的な学びへと繋げていく。

## 2. GIGA 第 1 期の総括

令和 2 年度より、柳津小中学校において、1 人 1 台端末の整備や校内 Wi-Fi などのネットワークの整備、ICT を活用した授業用の大型モニターの整備などを行ってきた。また、教育支援プラットフォームやデジタルノートアプリなど、学習と校務に役立つソフトウェアも導入し、コロナ禍においても学校と家庭学習との連携を図り、学びの保障の実現にかなり近づいたと思われる。

ただし課題としては、ICT 機器の使用が当たり前となることで、機器への依存度が高まり、長時間の娯楽コンテンツの視聴やインターネット上での不正な情報や悪意のあるサイトへのアクセス、SNS を通じたいじめ問題など、現代社会が直面している問題に早いうちに入り込んでしまう恐れもある。

このため、情報モラル教育やメディアコントロールをしっかりと行えることが必要となるが、町としては学校運営協議会の中でもメディアコントロールについて取り上げ、協議していくとともに、読書週間を身に付けさせ、自らがメディアとの一線を引けるよう、小中学校読書活動推進事業として、各校図書室の整備充実を図り、子供たちの読解力、知識と教養の向上と共に、メディアコントロールできる力を養う事業にも取り組んでいる。

## 3. 1 人 1 台端末の利活用方策

### 3-1. 1 人 1 台端末の積極的活用

柳津町では、ICT 支援員を各校へ毎週 1 日ずつ常駐させ、ICT 活用の校務支援を行っている。その他、ヘルプデスクとしての緊急対応等も実施するとともに、1 人 1 台端末の積極

的活用に向け、ICT の勉強会を開催するなど、教職員の ICT 能力の向上に努めている。授業や各種学校行事においても ICT を活用し、引き続きその幅を広げていく。

### 3-2. 個別最適・協働的な学びの充実

授業においては、オンライン学習管理ツールを用いて児童生徒の課題の進捗状況を把握できることや、ICT を活用したグループワークや他校とのオンライン交流授業を行い、作成した資料を共有しての協働学習や、体育での体の使い方について自分たちを撮影した動画で学ぶなど、幅広く活用している。

引き続き、児童生徒が興味を持ち、授業での活用頻度を高められるよう、ICT 支援業務による校務支援と勉強会の開催により、ICT 能力の向上も図っていく。

### 3-3. 学びの保障

1人1台端末を活用した教育相談として、児童生徒の心身の状況把握のため、アンケートツールを用いて、教職員が児童生徒の状態を多角的に知ることができるよう努めている。個人とクラスの状態を素早く可視化できることにより、リアルタイムでの現状把握ができ、素早い対応にも繋がる。また、フィルタリングソフトでの見守りによるメールアラート機能も活用し、児童生徒の悩みなどの精神状態を素早く察知することに繋げている。

ICT を活用した不登校児への支援や特別支援学級への入出力支援などについても、今後必要に応じて実施していく。